株主通信
第115期中間期

2026年4月1日―2026年9月30日

小松マテーレ株式会社

証券コード 3580



komatsumateRe

トップメッセージ



株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2024年から実行している中期経営計画の最終年度を迎えています。事業拡大と基盤強化の成果として、その目標達成に向けて取り組んでおり、さらなる企業価値向上を目指しながらお客様と社会への貢献に努めてまいります。株主の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2026年11月
代表取締役社長

当中間期においては、国内では衣料・資材の両分野で販売活動に注力し、海外では欧米・アジアを中心に販路の拡大に取り組んでまいりました。こうした中、従業員のワークライフバランスを重視し労働負荷軽減のための夏季操業日数の計画縮減によって、生産数量が前年同期を下回りました。加えて、システムおよび生産設備への今後の成長に向けた先行投資に伴う減価償却費等の負担増加により、前年同期比、減収減益となりました。

これに対し、当社グループは収益基盤の強化・向上を図るため、得意領域において競争優位性を一層高める方針のもと、高付加価値商品の開発と拡販、適切な価格転嫁に努めるとともに、省エネルギー化や生産性向上によるコスト削減に取り組んでいます。特に、今年5月に発表した工場再編プロジェクト「factoRe100(ファクトーレ100)」の第一歩として、ナイロン事業の拡大と高収益化を図るべく、耐震性・環境負荷軽減・省エネの最新技術を導入したナイロン工場の新設を決定いたしました。

さらに、10月には、海外顧客の反応や興味関心について情報を得る貴重な機会として、ドイツ・ミュンヘンにて開催された「PERFORMANCE DAYS展」に参加してまいりました。この展示会への参加で得られた気づきを、海外顧客への営業活動や海外市場を見据えた商品開発に活かしてまいります。

また、当社グループは、当期を最終年度とする中期経営計画「KFW-2026」の具体的施策を2024年から実行してまいりました。当中間期は、事業戦略の面では当社の熱可塑性炭素繊維複合材料「CABKOMA®(カボコーマ)」を用いた耐震補強工法が建築技術性能証明を取得し、老朽化した工場や倉庫の耐震化という新たな市場に向けて事業展開の基盤を整えました。製品事業の拡大としては、企業・学校向けユニフォームの企画・製造・販売を手掛ける「株式会社ユニフ」を子会社化しました。当社の素材力と同社の顧客基盤を融合させることで、ユニフォーム市場における競争力の強化を図ります。通期業績では6期連続の増収増益を見込んでおり、また、年間配当額は前期比1円増配の1株あたり28円とし、8期連続の増配を予定しております。今後も株主の皆様の変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

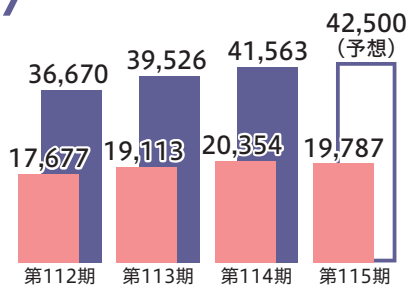
連結財務ハイライト

■ 中間期 ■□ 通期

売上高

19,787百万円

（単位：百万円）



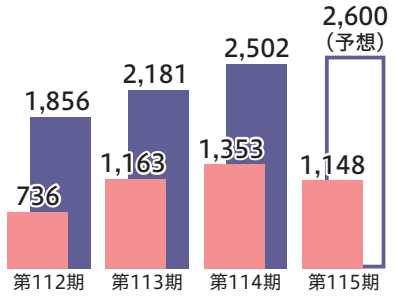
前年同期比

2.8%減

営業利益

1,148百万円

（単位：百万円）



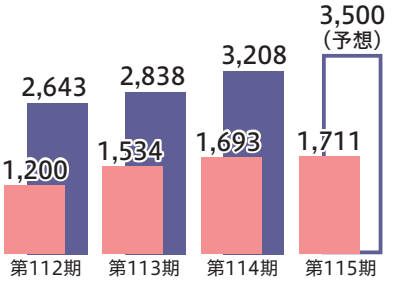
前年同期比

15.1%減

経常利益

1,711百万円

（単位：百万円）



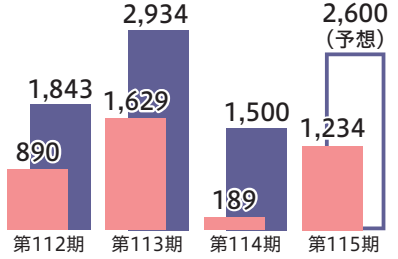
前年同期比

1.1%増

親会社株主に帰属する中間（当期）純利益

1,234百万円

（単位：百万円）



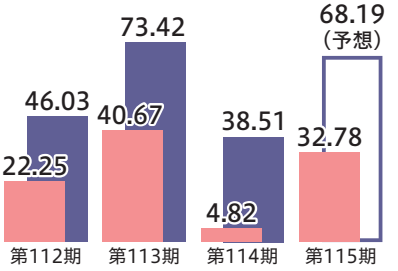
前年同期比

550.5%増

1株当たり中間（当期）純利益

32.78円

（単位：円）



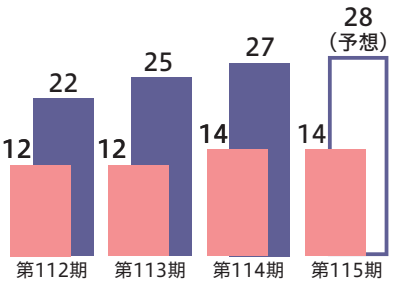
前年同期比

27.96円増

1株当たり配当金

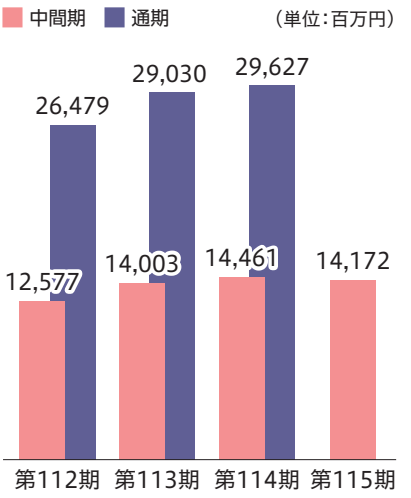
14円

（単位：円）



衣料ファブリック部門　売上高　14,172百万円　前年同期比 2.0%減

衣料ファブリック部門については、欧州ラグジュアリー向けが堅調で北米ファッションを中心に増加したものの、民族衣装が中東情勢緊迫化の影響を受けたことや、国内ファッションおよびスポーツ向けが苦戦したため、全体として減収となりました。



ドイツ・ミュンヘンにて開催の「PERFORMANCE DAYS展」に出展

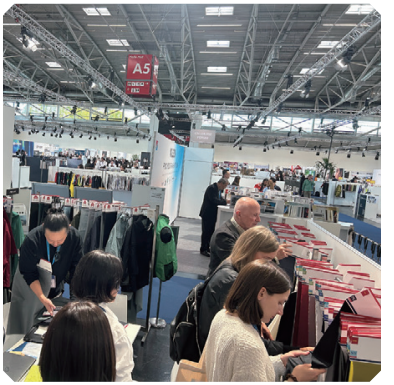
10月13日・14日の2日間、ドイツ・ミュンヘンで開催された「PERFORMANCE DAYS展」に出展し、多くの来場者の方々に当社の素材を手に取っていただきました。

会場中央では、次世代サステナブル素材としてバイオベース繊維が大きく取り上げられ、従来のリサイクル素材に加え、非石油由来原料への関心の高まりが感じられました。また、透湿度や耐水圧といったスペック重視の提案から、軽量性や着用快適性に加え、デザイン性も兼ね備えた素材提案へとトレンドが変化していることがうかがえました。

当社の提案では、意匠性とドライタッチを兼ね備えた『クアトローニ®EX』や、低膨潤性と快適性能を両立させた『クアトローニ®TK』が好評を博し、さらに、耐久撥水やUV（紫外線）カットなどの機能性を付与した軽量素材も多くの注目を集めました。

今回の展示会は、海外顧客の反応や市場ニーズを直接把握できる貴重な機会となりました。一流ブランドとの商談でも確かな手応えを感じており、現地で得られた気づきやニーズを今後の営業活動や迅速な製品開発へとつなげていきます。

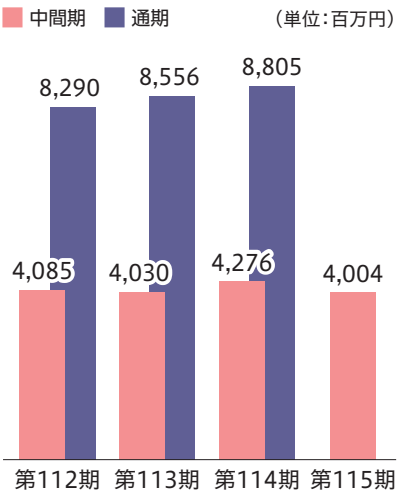






資材ファブリック部門　売上高　4,004百万円　前年同期比6.4%減

資材ファブリック部門については、医療・福祉での生産性向上やリビングでの高付加価値商品の導入による増加があったものの、生活関連資材および車輌分野が苦戦したことにより、全体として減収となりました。



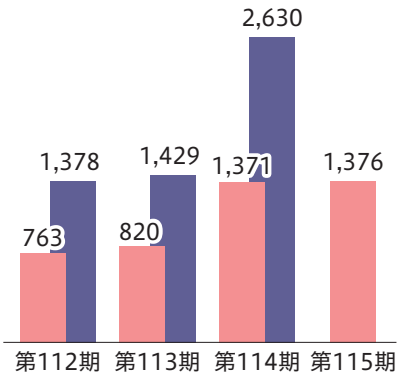
▪ 東京ビッグサイトにて開催された「第12回 猛暑対策展」に初出展



7月に東京ビッグサイトにて開催された「第12回 猛暑対策展」に初出展いたしました。会場では、炎天下での熱を遮るファブリックや、日光による生地表面の温度上昇を抑える合成皮革『コマクール®』など、酷暑環境に対応する最新の高機能素材をご紹介しました。特に体感ブースの設置により、当社の遮熱技術の効果を多くの方に直接ご体感いただき、これまで接点のなかったお客さまのご来場が多数みられるなど、当社の認知拡大と新たな接点構築の貴重な機会となりました。

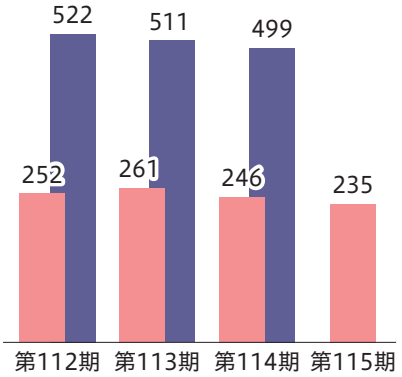
製品部門

売上高
1,376百万円
前年同期比
0.4%増



その他の事業

売上高
235百万円
前年同期比
4.6%減



小松マテーレ工場再編プロジェクト「factoRe100」本格始動

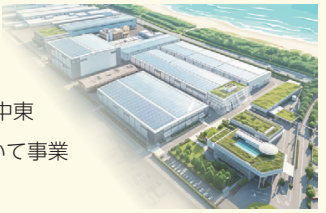


ナイロン工場(内観)

当社が5月に発表した工場再編プロジェクト「factoRe100(ファクトーレ100)」の第一歩として、当社が強みとするナイロン事業の拡大と高収益化を図るべく、2029年4月中の稼働を目指してナイロン工場を本社敷地内に新設します。新工場の建設投資は約80億円、ナイロン事業の目標としては5年後に売上高160億円規模をめざします。当社には約70年にわたるナイロン生地の加工ノウハウの蓄積があり、専用工場新設を契機に既存ブランド『コマツナイロン®』を国内のみならず世界の高級市場に向けて新たな価値を創造してまいります。

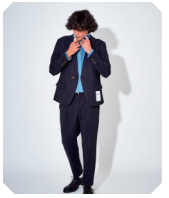
工場再編プロジェクト「factoRe100」

「factoRe100」は、2043年の創業100周年を見据えた長期計画であり、総工費300億円以上を見込む国内工場再編プロジェクトとして発表しました。「factoRe100」は、当社の強みである「中東向け民族衣装」「天然素材のような風合いを表現するSY加工®」「高度で多彩なナイロン加工」において事業拡大と高収益化をねらい、加工基盤を整備するプロジェクトです。



株式会社ユニフを子会社化

7月に企業・学校向けユニフォームの企画・製造・販売事業を行っている(株)ユニフを子会社化いたしました。(株)ユニフは、デザイン力・提案力・顧客接点を強みとする繊維メーカーです。当社グループの素材力・販路・生産規模を組み合わせることで、ユニフォーム市場におけるバリューチェーンの水平・垂直両面における補完が可能となり、当社の高機能素材を用いた高付加価値商品による競争力強化を図ってまいります。





老朽化した工場の耐震補強を実現する新たな工法を提案

「CABKOMA（カボコーマ）工法®－炭素繊維撚り線ブレースによる水平構面補強工法－」が建築技術性能証明を取得

当社が開発した熱可塑性炭素繊維複合材料『CABKOMA®』による耐震補強技術が、(一財) 日本建築総合試験所の建築技術性能証明を取得しました。本工法は、軽量かつ柔軟な「炭素繊維撚り線」を耐震補強用ブレース材（筋交い）として用いることで、短期間で耐震補強を行える技術です。

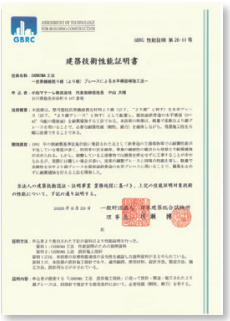
日本では老朽化した鉄骨造の工場や倉庫などの耐震性能不足が社会課題となっています。利用者の安全確保やBCP（事業継続計画）の観点から建て替えや耐震補強が急務ですが、操業を止められない稼働中の工場では、従来の鋼製ブレースを用いた施工が困難です。

当社はその課題解決のため、炭素繊維撚り線を用いて工場稼働を止めずに短い工事期間で屋根面の耐震補強が可能な本工法を開発しました。

本工法の提案により、主に老朽化した工場や物流倉庫のほか、公共施設などの耐震化を推進し、全国へ展開してまいります。安全で災害に強い社会の実現に貢献するとともに、事業者のBCP対策を強力にサポートします。



実際に工場屋根面(天井)に取り付けた炭素繊維撚り線ブレース(白いライン)



建築技術性能証明書

CABKOMA（カボコーマ）工法®の特長

1. **「工場の操業を止めずに耐震補強」が可能**
   工場内における主要設備の移設や操業を止めずに耐震補強工事が可能です。
2. **従来工法に比べ、総工事費の削減が可能**
   軽量で柔軟な材料を用いるため、施工費、仮設費、運搬費の削減が可能です。
3. **従来工法に比べ、施工性に優れ、工事期間の短縮が可能**
   部分的な足場の設置のみで、高所の屋根面でも効率よく施工が可能です。
4. **鋼製ブレースと同等の必要な耐震性能（剛性、耐力）確保が可能**
   各種実験データにより、必要な剛性および耐力を有することを確認しています。

当社工場の施工においては、従来工法に比べ、総工事費13%の削減、工事期間45%の短縮を確認しています。また、操業停止に伴う売上高約30億円の減少を防ぐことができました。(※自社調べ)

□「カボコーマ®・ストランドロッド」

日本の伝統産業である組紐の技術と、炭素繊維の技術を融合した強さとしなやかさを有するワイヤー状の材料。



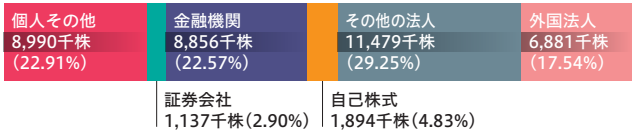
〈主な特長〉

- 耐久性に優れる
- 結露しない
- 軽量
  (比重は鉄の1/5)
- 引張に強い
- 錆びない

株式情報

発行済株式総数	株主数
39,240,999株	8,255名

所有者別分布状況



大株主（上位10名） 2026年9月30日現在

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東レ株式会社	3,749	10.03
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	3,495	9.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,560	6.85
株式会社北國銀行	2,001	5.35
小松マテーレ松栄会	1,976	5.29
日本生命保険相互会社	1,284	3.43
JP MORGAN CHASE BANK 385642	1,026	2.74
三谷産業株式会社	892	2.38
第一生命保険株式会社	775	2.07
大和証券株式会社	693	1.85

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当　3月31日 中間配当　9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
【各種お問合せ先】	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〈テレホンセンター〉0120-094-777(通話料無料) 【受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)】 よくあるお問合せは下記のウェブサイトからもご確認いただけます。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/
1単元の株式の数	100株
公告の方法	電子公告(当社ウェブサイトに掲載) https://www.komatsumatere.co.jp/ir/investor/ ※事故やその他やむを得ない事由が生じた場合、 日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所　プライム市場

住所変更、配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増等について
株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座の口座管理機関の上記電話照会先にお申し出ください。なお、単元未満株式の買取・買増の当社にかかる手数料はいずれも無料となっております。

会社情報

役員 2026年9月30日現在

取締役会長	佐々木久衛
代表取締役社長	中山　大輔
代表取締役専務	米谷　俊泰
常務取締役	小川　直人
取締役	中村　重之
社外取締役	大西　洋
社外取締役	山下　修二
社外取締役	堀内　節郎
社外取締役	野村　建太
取締役常勤監査等委員	米澤　和洋
社外取締役監査等委員	坂下　清司
社外取締役監査等委員	横越　亜紀

会社の概況

商号	小松マテーレ株式会社
設立年月日	1943年10月8日
資本金	46億8,042万円
本社	〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ167番地
本社製造部	同上
美川製造部	石川県白山市鹿島町1号7番地1
大阪営業所	大阪府大阪市北区梅田二丁目2番22号 ハービスENTオフィスタワー8階-9階
東京営業所	東京都港区南青山二丁目5番17号 ポーラ青山ビルディング12階
北陸営業所	石川県能美市浜町ヌ167番地 小松マテーレ株式会社 本社2階

グループ会社

株式会社コマクソン	石川県能美市
株式会社コマツインターリンク	石川県能美市
マテーレトレーディング株式会社	石川県金沢市
株式会社エヌエスケーエコーマーク	東京都新宿区
株式会社ユニフ	広島県広島市
小松美特料(蘇州)貿易有限公司	中国・江蘇省蘇州市
小松美特料(蘇州)咨詢有限公司	中国・江蘇省蘇州市
吉田産業株式会社	福井県鯖江市

小松マテーレ株式会社
https://www.komatsumatere.co.jp/

VEGETABLE OIL INK

公式SNSで情報発信中！